

2006 年度 小委員会活動成果報告

(2007 年 2 月 7 日作成)

小委員会名	鋼コンクリート接合部設計法検討小委員会		主 査 名：西村泰志 就任年月：2005 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	構造委員会 鋼コンクリート合成構造運営委員会		委員長名：和田 章 主 査 名：崎野健治
設 置 期 間	2005 年 4 月 ~ 2009 年 3 月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (簡条書き)	<p>異種構造部材で構成される接合部に関して、理論的に統一的な考えに基づく設計法を検討し、将来的に、『鋼コンクリート合成構造接合部設計指針(案)』の出版を視野においた技術資料の整備を目的とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 応力伝達機構および抵抗機構に基づく統一的な設計式を構築する(2005 ~ 2007 年度) ・ 鋼コンクリート合成構造接合部の設計法に関する資料集を作成(2007 年度) ・ 資料集に基づいて講習会を実施する(2008 年度) 		
委員構成 (委員名(所属))	<p>委員公募の有無：有</p> <p>西村泰志(大阪工業大学)、宮内靖昌(竹中工務店)、飯塚信一(西松建設)、内田和弘(フジタ)、金本清臣(清水建設)、川口淳(三重大学)、北野敦則(北海道大学)、澤本佳和(鹿島建設)、鈴木英之(安藤建設)、筒井茂行(日本設計)、中原浩之(鹿児島大学)、馬場望(大阪工業大学)、森貴久(大和ハウス工業)</p>		
設置 WG (WG 名：目的)			
2006 年度予算	250,000 円	<p>ホームページ公開の有無：有</p> <p>委員会 HP アドレス： http://www.kobe-u.ac.jp/scs/AIJ-SCCS/Subcommittees-j.html</p>	

項 目	自己評価
委員会開催数	4 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 2005 年度に実施したセミナー形式の講習会あるいは小委員会での議論等を通して、鋼コンクリート合成構造接合部設計指針(案)の作成を視野に入れた目次案をほぼ確定した。 2. 部材が直交する接合部に関して、応力伝達機構および抵抗機構に基づく設計式を提示した。 3. 部材が直列的に結合される接合部に関しても、応力伝達機構および抵抗機構に基づく設計式をほぼ構築することができた。
委員会活動の問題点・課題	RC 部材あるいは面材と S 部材が並列的に結合される接合部に関して、技術資料にどの内容まで網羅するかについて、現時点では、結論に至っていない。